ORD NEWS 2019 10 NO.129
大阪府研究開発型企業振興会

CONTENT

2019年度ORD総会と講演会 …… 1～2
ORD講演会レポート …… 3～4
ORD全体事業「見学会」レポート …… 4～5
製品開発委員会第5回例会レポート …… 6～7
製品開発委員会第6回例会レポート …… 8～9
技術促進委員会「研修」レポート …… 10～11
技術促進委員会「研修」レポート …… 12～13
事務局だより …… 14

編集：企画広報部会　事務局：〒538-0044　大阪市鶴見区放出東1丁目10番25号（奥野製薬工業（株）内）
TEL 06-6961-7866　FAX 06-6961-7878　E-mail info@ord.gr.jp　URL http://www.ord.gr.jp

大阪府研究開発型企業振興会（ORD）
2019年度ORD総会と講演会

2019年6月25日、りそな銀行ビジネスプラザおおさかにおきまして、2019年度総会及び講演会を行いました。

総会は、例年通り代表幹事の挨拶、来賓紹介、来賓代表として、大阪府商工労働部中小企業支援室商業・サービス産業課課長　若林寛章様に挨拶を頂き、議事に入りました。

・議案1　2018年度事業実績及び収支報告
・議案2　2019年度事業計画及び収支予算案
・議案3　2019年・2020年度役員改選

全ての議案は満場一致で承認され、続いて各委員会より活動報告と今年度の活動方針が報告されました。その後、10年の長きに渡りORD事務局長を務められ、本年3月をもって退任された前事務局長の佐藤晴央様に対して、長年に渡る働きのご苦労を慰労し、その働きに対して感謝の意を表して感謝状と記念品の贈呈が行われ、総会は閉会いたしました。

総会に引き続き、基調講演としまして、国際政治学者藤井厳喜先生による
「日本経済に影響を及ぼす国際情勢」
－米中経済戦争の結末と日本－
と題してご講演を賜りました。

今年8月13日に、アメリカ政府は、昨年8月に成立した、国防権限法に基づく調達禁止措置を行います（いわゆるチャイナココム）。この措置は、2012年頃より中国との不公正取引を問題視していた、トランプ大統領の政策アドバイザーのピーター・ナヴァロ氏が提唱。

対象は、中国企業の通信機器及び監視カメラメーカー。

・通信機器メーカー
　華為技術（ファーウェイ）、中興通訊（ZTE）、
　海能達通信（ハイテラ）
・監視カメラメーカー
　杭州海康威視数字技術（ハイクビジョン）、
　浙江大華技術（ダーファ・テクノロジー）

来年8月以降は、この措置が強化され、上記5社と取引している日本企業もアメリカとの取引が出来なくなります。

トランプ大統領は、2016年の選挙公約を実施しているだけで、アメリカファーストによるピーター・ナヴァロ氏とトランプ大統領の国外戦略の一環。

①. ISの滅亡
②. 中国
③. ロシア

でありましたが、新たな問題としてIS壊滅後にイランが力をつけてきたことが想定外として。

①の公約のISについては、ほぼ達成したので、中国に覇権の主導権を握らせないための施策を実施。

今まで中国に強硬に対応出来なかったのは、民主党と中国との深い関係によるもので、

例えば、オバマ大統領の腹違いの弟が、中国において人民解放軍の協力を得てビジネスを行っている。ヒラリー・クリントン氏が中国共産党から選挙資金を受ける。等

アメリカが強気な政策を実行できるのは、失業率3.6%と49年ぶりの最低の失業率で、経済が好調なため。

一方、中国共産党は、アップルの組み立ては全て中国国内で生産されていることや、グーグルとファーウェイとの蜜月関係により、アメリカ経済に影響を与える影響が大きい為、アメリカは、中国を叩けないと考えていましたが、9月からの追加関税によりアップル製品に実質的に10%の課税。

米中貿易戦争は、収まらない、何故ならば、世界の覇権の取り合いで、アメリカの目的は、全世界のサプライチェーンによる中国の排除。

元々は、アメリカが、日本バッシングの為に、韓国、中国を利用していたものですが、中国アンフェアな技術導入、補助金により、予想以上のスピードで経済大国即ち軍事大国化した為で、これらは、アメリカファーストによる、ピーター・ナヴァロと、トランプ大統領の戦略です。これは世界経済のマイナス＝中国経済のマイナスを意味します。

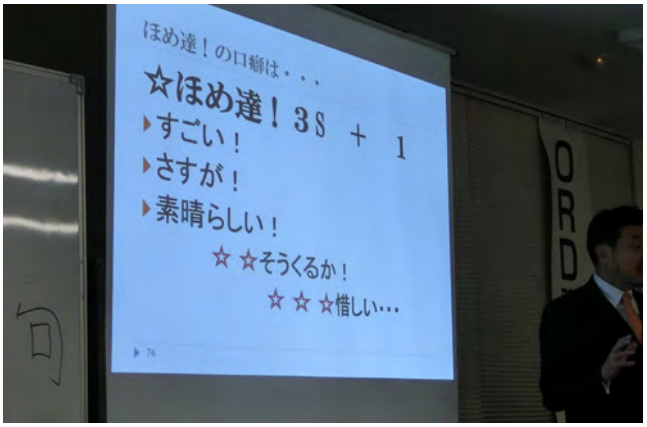
自由経済からの中国の排除により、中国共産党は、改革開放をやめ、社会主義化を進める。ドル圏から離れ、人民元圏の経済圏を創り、人民元本位制のマーケットとしての、一帯一路の活用であるが、中国にとり厳しい時代が始まる。「新調整」という新たな新語を習近平国家主席が発表しました。

懇親会に藤井厳喜先生にご参加いただき、講演会ではお話できないようなことも、お話しいただき、大いに盛り上がりましたが、中国と取引をしている企業様にとって、先行きの暗い話となり又、日本の景気は消費税増税により悪くなると、念押しもされました。

松浦　勲（記）/企画広報部会長

ORD講演会レポート
人材育成のための「叱る」「謝る」「褒める」講演シリーズ 第3回「褒める」

●日　時：2019年2月20日（水）15：00～16：30
●場　所：奥野製薬工業㈱本社４Ｆ会議室　大阪市中央区道修町4-7-10
●講　演：『ほめる達人への道』やる気を引き出す！魔法の言葉
●講　師：（一社）日本ほめる達人協会　理事長　西村 貴好
●懇親会：中国料理『上海楼』17：00～19：00



2019年2月20日奥野製薬工業株式会社本社会議室にて、「叱る」「謝罪」に続く第3弾の「ほめる」をテーマに日本ほめる達人協会理事長　西村貴好先生にご講演を賜りました。

人材教育において、相手のマイナス点ばかり指摘してもその時は改善できたように見えても、本質的には直っていないので過ちを繰りかえします。しかし失敗した時に、支える言葉「浮き輪言葉」を添えると、失敗した人を強く力づける魔法の言葉となり、且つ、その言葉を発信した人の、人間力（人としての器の大きさ）を表す事となります。

又、ねぎらいの言葉は、お互いにとって、手軽で貴重な心の報酬です。即ち、相手をほめることで、自分の心にも余裕を持たせる事が出来ます。

ほめる所がない、即ち、当たり前と思うと、感謝が無くなります。しかし、当たり前の中にある価値を見つける事で、ほめ言葉が見つかります。ほめるは「ヒーローインタビュー」と同じで、「すごい・さすが・素晴らしい」に一言添えることから始められます。

経験則の中で、ほめる事で解っている事は、他人のコントロールには使えませんが、自分自身の心が整う事で、相手との関係性が変わります。なぜなら、「人間関係は鏡である。そして鏡は先に笑わない（野口嘉則氏）」です。しかし、ダメ出しは、人間の本能、ほめるにはそれなりの覚悟が必要です。

「ほめ」続けていくことが、自分自身の心の持ち方にゆとりが出来、「ピンチをチャンスに変える」こともできます。例えば、ピンチになった時「これは何かのチャンス」と脳に質問すると、突然ひらめいて、今まで見えていなかったものが見えてくることがあります。

結局、ほめるとは自分の心が楽になり、自分と相手方が伸びていく魔法のようなシステムです。「ほめるとは?」簡単なことなのですが、照れくささや、メンツが邪魔をしてしまいますが、コストを掛けずに心と体の健康を維持する万能薬です。

いきなりほめるのは照れ臭いのであれば、「二言あいさつ」から始められては?

「あいさつ+ありがとう」これなら、今日からでも始められるのでは?
ORD会員の皆様の会社でも早速、始められては如何でしょうか?

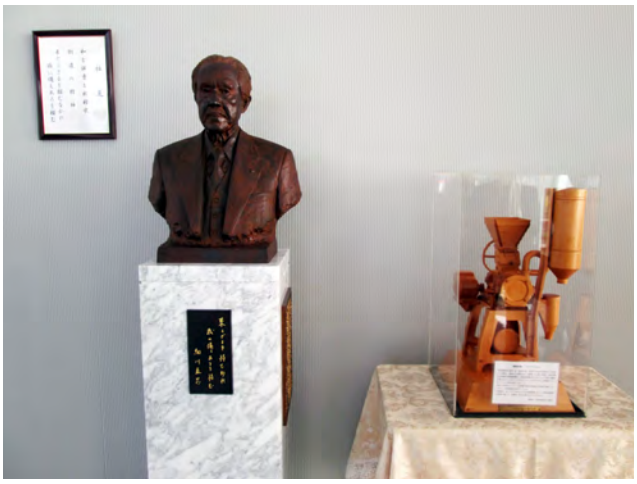
講演会後の懇親会にも西村先生にもご参加いただき、人材教育における先生の失敗からほめる達人に方向転換されたお話などをお聞きし、大変考えさせられる講演会でした。

松浦　勲（記）/ 企画広報部会長

ORD全体事業『見学会』レポート

●日時：2019年5月23日（木）　15：00～16：30
●場所：ホソカワミクロン株式会社　技術開発センター

ホソカワミクロン本社ビル



本社ビル1Fロビー

2019年5月23日　ORD全体事業の会員企業見学会としまして、ホソカワミクロン株式会社様にお願いし、技術開発センターを見学させていただきました。

技術開発センターの見学に先立ち、本社ビルの最上階（12階）の会議室で、当振興会の相談役でもります、ホソカワミクロン株式会社　代表取締役会長兼社長の細川悦男様にご挨拶をいただいた後、会社説明を執行役員企画統括部長の花川忠己様からいただきました。

創業者の細川永一氏が独学で微粉砕機『ミクロンミル』を発明して以来、世の中のニーズに応えて粉体

見学会風景

見学会参加者

関連技術を発展させ、様々な物質を砕く「粉砕」、必要な大きさに選り分ける「分級」、それら粉体を「混合」、「造粒」、「乾燥」するなど、粉体に関連する様々な技術及び関連機器を開発・製造しており、世界12か国17社23拠点で事業活動を行っています。近年では、粉砕によるナノ技術を利用し、化粧品分野や育毛剤などの分野へも自社ブランドを開発し乗り出しているそうです。

その後、2グループに分かれ技術開発センターの見学に案内していただきました。その途中、本社ビル入り口ロビーに展示されていますミクロンミル1号機の木製模型の説明をお聞きしました。技術開発センターでは、ユーザーのこんな物、こんな事が出来ないかとの要望にこたえるために、小型の実機を使用して、ユーザーと一緒に最適な粉砕条件を導き出しているそうです。粉砕機は一般に金属製ですので、携帯電話等に使用されるリチウムイオン電池の原料に使用すると、粉砕時に金属のコンタミがあるため発火する恐れがあるそうです。海外製の安価品で発煙したり燃えたりするのはそれが原因とのことです。そのため粉砕のための回転部分にセラミックス製の部品を使用した特注品が使用されます。両手をかぶせたぐらいの大きさで数百万円するとのことでした。また、溶剤を使用する粉砕のための防爆設備を整えた部屋もあり、多彩な要望に応えることが出来るそうです。

最後に、再度本社ビル最上階（12階）の会議室に戻り質疑応答の時間となりました。この時、会議室のブラインドが解放され、眼下に広がる枚方市内や生駒の山並みなどの素晴らしい景色が目に飛び込んで来て、有意義な見学会の締めくくりとなりました。

その後、樟葉駅前に移動し懇親会を催し、ホソカワミクロン株式会社代表取締役会長兼社長の細川悦男様、秘書室室長の神谷昌良様にもご参加いただき盛会の内にお開きとなりました。細川社長をはじめ、お忙しい中ご対応いただきました社員の皆様に感謝申し上げます。

上岡秀也（記）／事務局

本社ビルからの遠景

懇親会

製品開発委員会2018年度第5回例会レポート
定例会議、講演会と忘年会

●日　時：2018年12月12日(水)　17：00～21：00時
●場　所：「ホテル一栄」大阪市浪速区難波中1-6-8、06-6641-3135
●例　会：17：00～17：30「平成30年度の回顧と来期への抱負」
●講　演：17：30～18：30「製品開発における利益を生み出す差別化」
●講　師：大阪府立大学名誉教授・大阪学院大学教授　山本浩二様
●忘年会：18：30～21：00

はじめに

第5回例会は例年、製品開発委員会の定例会議と特別の催しそれに一年の締めくくりの忘年会を催します。参加者は会員メンバーが10名、事務局から1名それに特別講師が1名と計12名でした。定例会議は藤川委員長が2018年の一年間を回顧・総括して、来年度の抱負を述べて約30分で終わりました。

1. 新工場竣工の新聞記事

新聞記事について説明する猪奥会長

12月4日(火)の日刊工業新聞に、製品開発委メンバーの猪奥氏が会長を務めるノボル電機が、新工場を枚方市内に建設して移転したとの記事が掲載されました。新聞記事のコピーは会場で配布され、詳細な情報を猪奥会長が説明して、ひとしきり話題になりましたが、新聞記事をコピーして印刷物にすることは、現今では著作権に抵触するので、記事コピーの掲載は断念します。新聞記事によれば、新本社工場は「鉄骨造4階建て。敷地面積は2,900㎡。総投資額は13億円。主力製品のハンドスピーカーの月産能力は旧本社工場と比べ50%増の9,000個となりました。

講師の山本名誉教授兼ORD顧問。

2. 山本浩二府大名誉教授の講演

2018年最後の製品開発委員会例会の講演会には、ORD顧問でもある大阪学院大学経営学部・山本教授に特別講後をお願いしました。主題は

『製品開発における利益を生み出す差別化
～ものづくりがガラパゴスにならないため～』

です。

2-1. ○経済大国日本はどこに向かう？

出だしから、・GAFAといわれる世界的に個人データを圧倒的な規模で集めている勝ち組企業のGoogle, Apple, Facebook, Amazon comの4社に、日本は大きく出遅れて敗北していると、ショッキングな指摘をされました。

情報化の技術イノベーションは日本は不得手で対応が出来ていないが、原因は国の科学技術政策や大学教育政策が、そのようになっていないからで

ある。とは言うものの、そのような現状の中で、ものづくりのリアルの世界で勝ち残らないと、中国に抜かれてGDPが世界第3位になってしまった日本の先はさらに厳しい。

以下、講演は合計19項目の多きにわたり懇切にご講義頂いたが、全部を掲載するには長過ぎるので、詳細は例会で頂いたテキストをご参照頂きたい。

製品開発委員会は2018年7月18日に、国際協力銀行（JBIC）の産業ファイナンス部、西日本オフィス次長・石川 輝様を講師にお呼びして、セミナーを開きました。JBICのミッションの一つは日本の産業の国際競争力の維持及び向上なので、対象になる企業は大手企業が主ではないかと思われるが、中小企業の支援も大きなミッションであるとの事でした。セミナーの中で最近の日本経済力の動向に触れている箇所がありましたが、今回の山本教授の講演で述べられていた現状を把握するには、良い捕捉になるので、石川次長の講演のサワリを以下に再録します。

講演風景。右奥が山本教授

【日本経済力の凋落】

2000年～ 2018年の主要10カ国のGDP規模の推移をグラフで見ると、2000年には米国1位、日本2位、ドイツ3位で中国は8位程度だったのが、2005年には中国はフランスを抜いて5位に上がり、2009年には日本も抜いて2位に上がった。その後中国と日本の差は広がるばかりで、日本はGDP世界第三位の経済大国と云うには恥ずかしい数字である。

世界の輸出に占める主要国（日本、米国、中国、ドイツ、韓国）のシェアをグラフで見ると2000年には日本は米国とドイツに次ぐ世界3位の輸出大国であった。中国は韓国より少し上の4位であったが2007年には中国は米国を追い抜き、2009年にはドイツも抜いて世界1位に躍り出た。日本は2004年に中国に追抜かれ、2014年には韓国と並ぶところまで落ちている。

2018年の例会、講演会と忘年会後の集合写真

3. 懇親会

例会および講演会後、講師を交えて同じ会場で懇親会を催しましたが、これが2018年の製品開発委員会の忘年会となりました。

菊池 清（記）／センー特殊光源㈱

製品開発委員会2018年度第6回例会レポート
定例会議と講演会

●日　時：2019年2月13日(水)　14：00～21：00
●場　所：ユニケミカル（株）　ORD 203号会議室、
●例　会：14:00～15:00、平成30年度行動報告及び平成31年度の方針の概要について
●講　演：15:00～16:30、「もの作り企業における新製品の企画から上市までの諸問題について考える～企業の利益獲得のために～」
●講　師：SUN・GROUPホールディング（株）　コンサルティング部　部長　谷口育久様
●忘年会：17:00～19:00頃迄　「ホテルコンソルト」

はじめに

企業社会では年号は元号が使われることが多いが、新聞は西暦を主にして元号を併記しています。お役所はほぼ元号一辺倒です。元号は天皇が代わるとかわるので、久しぶりに2019年（平成31年）に改元があり、5月1日に平成31年から令和1年にかわります。官公庁に提出する文書類には、同じ年内に平成と令和の両方を使い分けなければならないので、手間がかかります。そのため世間では西暦が使われる頻度が急に高くなっているようですが、官公庁の壁があるので、企業社会では令和主流に間もなく収束して行くでしょう。ところでややこしいことに輪をかけて、年度は暦年とは一致しないことが多い。いずれにしても「例会」項に記載された平成31年度は、年度途中で嫌でも令和にかわります。閑話休題!

講師の谷口育久部長

講演風景-1

1．講演

1-1. SUN group HDについて

今回の講師の谷口育久様はSUN group HD、コンサルティング部々長です。知っている方が多いでしょうが、同グループは発展を遂げ組織が大きくなっているので、少し補足説明させて頂きます。製品開発委員会の藤川委員長のお陰で、委員長が懇意にしている藤本昇弁理士には、我が製品開発は幾度もお世話になっており、これまでも何度か講師をお願いしています。藤本弁理士は藤本昇特許事務所を開設して知財の世界に入られたが、その後組織を大きくされ、今は知的財産専門グループのSUN Group HDを主宰し、グループ会長を務められています。因みにグループ代表は藤本周一様です。谷口育久部長はそのサングループのコンサルティング部々長です。2000年4月に藤本昇特許事務所に入られ、2018年1月にSUN Group HD（株）のコンサルティング部に転部され現在に至っています。谷口部長は1991年4月から2000年10月まで、富士車輛（株）に

講演会風景②

勤めておられたそうです。そう言えば藤川委員長も富士車輛に勤めていたと聞いていますので、かっては同僚でもあったのですね。

1-2. セミナータイトルとそのサワリ

少し長いが講師の掲げたタイトルを示します

【モノ作り企業における新製品の企画から上市までの諸問題について考える
～企業の利益獲得のために～】

講演内容はセミナーテキストが 23 ページもあるものでしたので、とても二枚程度の例会レポートに納め切れませんが、有意義なセミナーでしたので、さわりを以下に、ほんのチョット紹介します。

1-2-1. 4 段ステップ

＜企画ステップ＞
＜開発ステップ＞
＜準備ステップ＞
＜上市＞

1-2-2. 市場ニーズにマッチした製品

①市場に受け入れられる。⇒売れる
②販売数量が多くなる
③製品価値が高まる⇒利益率が上がる

1-2-3. 特許を取れば無敵か

そうではない。補うものとして・デザイン（意匠）・ブランド名、商品名、ロゴ等（商標）・ノウハウ（技術的知見）にも目を向ける。

懇親会

講師には懇親会にも同席頂いた。長く ORD 事務局長を務めていた佐藤氏が、奥野製薬を定年で退職されることになり、同時に事務局長も退任することになったので、今回の製品開発委例会の懇親会で、製品開発委員会から慰労と感謝の意を込めて記念品を贈呈させて頂いた。

菊池　清（記）／セン特殊光源㈱

懇親会の後の集合写真、ホテルコンソルト

佐藤事務局長に製品開発委員会から退任記念に高級グラスカップを贈呈

技術促進委員会「研修」レポート

●日時：2019年2月8日（金）
●場所：少彦名神社、田辺三菱製薬史料館、奥野製薬工業（株）、新年会

少彦名神社

今年度最後の例会は、寒空の中、総勢13名にて、少彦名神社、田辺三菱製薬史料館を見学させていただいた後、奥野製薬工業（株）にて次年度の計画を策定し、新年会を周辺にて行いました。

くすりの道修町資料館

少彦名神社は道修町にあり、薬医の神様である「神農さん」を祭っている神社です。薬医に関係する企業の多い道修町では少彦名神社は大変ありがたいものとして敬われております。参拝の後、神社に隣接する「くすりの道修町資料館」を見学し、道修町の歴史を少し勉強いたしました。

そのまま道修町通りを西に向かい田辺三菱製薬史料館を見学いたしました。ここは、田辺三菱製薬（株）本社2階にあり、①明治初期の道修町と田邊屋（田辺三菱の旧屋号）の店構えおよび十二代田邊五兵衛のルーツ。②田辺三菱製薬の収蔵品と社業の紹介および大正から現在までの歩み。③新薬の開発と体とくすりの関係等を説明した今と未来。の3つのゾーンからなっています。田辺三菱製薬（株）様のルーツは1604年までさかのぼり、1678年から合薬の製造販売を大阪にて始めます。世界で2番目に歴史の古い会社となるそうです。道修町は江戸時代より「くすりの町」として有名でしたが、当時より薬種中買株仲間という組織をつくり、薬種の品質、目方の保証、適正価格等を取り決め、全国に供給していました。また、第一次世界大戦によりヨーロッパからの洋薬の供給が不足したことをきっかけに洋薬の国産化が一気に進んだとのこでした。

田辺三菱製薬㈱本社

田辺三菱製薬史料館1

田辺三菱製薬史料館2

新ためてモノづくりにおける品質保証および販売責任をしっかりすることが大いなる発展につながると再認識いたしました。

その後、道修町通りをさらに西に向かい奥野製薬工業(株)本社にて技術促進委員会の次年度の計画を策定いたしました。あらかじめ実施していたアンケートを基に意見交換を行い、下記のように決議されました。

テーマ：企業の「ものづくり」を考える

見学会：7/5(金)、広島方面、マツダおよびマツダミュージアム予定(実施済)

一泊研修：10/18(金)～19(土)、愛知方面、愛知時計およびトヨタ産業記念館予定

講演会：12/6(金)、食品サンプル制作体験、忘年会予定

企画会議：2/7(金)、パナソニックミュージアム、次年度活動計画策定予定

予定通り4時半ごろに次年度計画の策定を完了し、5時より新年会を執り行いました。今年度の活動をすべて無事に終えることができ、改めて皆様のご協力に感謝いたします。

最後に、お忙しい中、ご対応していただきました田辺三菱製薬史料館のスタッフの皆々様に感謝いたしますと共に、ますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

伊場田　晶(記)／旭テック(株)

田辺三菱製薬史料館3

技術促進委員会「研修」レポート

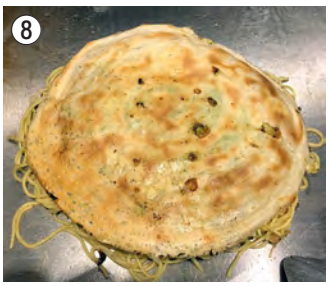
●日時：2019年7月5日（金）
●場所：オタフクソース（OKOSTA）、マツダミュージアム

広島駅OKOSUTA

梅雨時の合間の曇り空の中、総勢８名にてJR広島駅新幹線口に集合し、オタフクソースにて広島風お好み焼きを満喫後、マツダミュージアムを見学してまいりました。

大改装中のJR広島駅の北口にオタフクソースのお好み焼き体験スタジオOKOSTAがあります。完全予約制で１時間30分をかけて広島風お好み焼きを製作（調理）し、試食するという体験スタジオです。ご存じのとおりORDのメンバーは関西出身者が多く、その多くは子供時代に大阪風お好み焼きを自分で調理し食していたと思われます。

スタジオに着くとエプロン、帽子、手袋が支給されます。テーブルには皿とコテ３つ（標準：２つ、小型：１つ）が並んでいます。そもそも広島ではコテでなく「ヘラ」といいます。そんな話を講師の方と話しながら進んでいきます。具材は下から、①生地、②キャベツ、③天かす、④青ネギ、⑤もやし、⑥鰹節の削粉、⑦豚肉、⑧中華めん（うどんはなかった）、⑨たまご、⑩ソース、⑪青のりおよびマヨネーズ、となります。具材１つの作業手順が１工程となり、その度、具材を焼く鉄板の位置（温度の高いところと低いところがある）の指示があり、手づかみで具材を取る際の注意事項があります。そんな状況で製造（調理）が進み、40分程度かかって完成しました。多くの皆さんがコテを使ってお好み焼きをひっくり返すのは何十年ぶりだと思うのですが、関西人の名に恥じぬ完成度でした。わいわいがやがやと楽しい昼食会となりました。



マツダミュージアム

その後、JR にて向洋駅まで移動し徒歩にてマツダ本社に到着しました。駅からの途中、「ZoomZoom 薬局」という薬局があり、地元のマツダ愛を感じずにはおられませんでした。本社にて受付後、見学申し込み者約 40 名がバスにてマツダミュージアムへ移動します。なお、マツダミュージアムは完全予約制で 1 日 1 回の対応となっております。

マツダミュージアムは 7 つの区画からなっており、①エントランスホール、②歴史展示、③RE（ロータリー）展示、④技術展示、⑤組み立てライン見学、⑥未来展示、⑦ショップ、となっております。歴史展示区画では往年の名車が展示してあり、昔を懐かしみながら写真撮影をしました。RE（ロータリー）展示、技術展示区画ではカットモデルを観察しながら説明パネルを熱心に読んでおられました。組み立てライン見学はマツダミュージアムがその名の通り博物館なので訪問する前はデモラインかと思っていたのですが、工場の稼働している実際のラインを見学できます。マツダの製造ラインはトヨタや日産も参考にするために見学に来たという 1 つのラインに 2 車種や 3 車種ではない多数の車種を流すというマツダ独自のラインです。部品の取り付け間違いをしないような工夫がたくさんあり、自動車メーカーとしては中堅規模のマツダの生き残り作戦を垣間見たような気がしました。未来展示区画ではガソリンエンジンについての今後の需要見通しと企業のサステナビリティについて説明がありました。最後にミュージアムショップにてマツダグッズを購入し、エントランスホール喫茶室にて一服しました。ミュージアムの見学終了まで、およそ 1 時間半の見応えのある見学となりました。

今回は 2 社とも一般申し込みの見学会となりましたが、終わってみれば内容の濃い見学会となりました。

伊場田　晶（記）／旭テック（株）

事務局だより

ＯＲＤ事務局交代のお知らせ

10年の長きに渡り事務局長としてＯＲＤ事務局の運営の任についておられました、佐藤晴央様が本年3月に退任されました。後任には、上岡が当たらせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。佐藤様本当にありがとうございました、そして、ご苦労様でした。

佐藤事務局長慰労会

2月27日（水）17：00から、20名の出席者により佐藤事務局長の10年に渡る事務局運営の労をねぎらい、ささやかながら慰労会を開催し、記念に花束を贈呈しました。

佐藤前事務局長表彰式

6月25日（火）に開催されましたＯＲＤ総会において、本年3月に退任された佐藤前事務局長に対し、長年に渡る働きのご苦労を慰労しその働きに対して感謝の意を表して、奥野代表幹事より感謝状と記念品（ＶＩＳＡギフトカード）の贈呈が行われました。

今後の行事予定

(1)ORD全体事業

日　時	場　所	内　容
11月12日(火) 15：00～17：00	奥野製薬工業㈱　本社	ＯＲＤセミナー：働き方改革関連法対策セミナー：対策編
2020年2月開催 15：00～17：00	奥野製薬工業㈱　本社	ＯＲＤ講演会：万博がけん引する大阪・関西地域経済の活性化

(2)技術促進委員会

日　時	場　所	内　容
12月6日(金)	大阪市内	見学会：食品サンプル制作体験　他　懇親会兼忘年会
2月7日(金)	大阪府下　門真市他	見学会：パナソニックミュージアム　企画会議：次年度活動方針・活動計画検討

(3)製品開発委員会

日　時	場　所	内　容
12月12日(木)	ホテル一栄	実務セミナー：内容未定　懇親会兼忘年会
2月12日(水)	ユニケミカル㈱	例会：次年度運営方針検討・役員改選　懇親会